

令和元年度第4回、第5回研究WG活動報告他

はじめに

倫理委員会では、令和元年10月15日(火)に令和元年度第4回研究WG(出席者21名)を和光技研(株)会議室にて、令和元年12月9日(月)に第5回研究WG(出席者17名)を北開工営(株)会議室において開催いたしましたので、報告いたします。

1. 令和元年度第4回研究WG

(1) 旭川高専共同授業について

旭川高専での技術者倫理共同授業を過年度に引き続き今年度も11/12、11/19、12/3の3回に亘り実施します。授業時間は約3時間30分で、講義・事例説明に約1時間、6班に分かれてのグループディスカッションに約1時間20分、発表・質疑応答が約1時間となります。講義テーマ、授業の進め方は各班で事前打合せを行い授業に臨みます。

(2) 技術者の倫理入門：第5章(倫理実行の手法)

平野委員・佐藤委員より、技術者の倫理入門：第5章(倫理実行の手法)と題した報告がありました。

5.2 倫理問題解決のセブン・ステップ・ガイド

倫理学習⇒事例研究が役立つ

事例研究によって

自分の心の中の
モラルの意識を見つける
モラルの意識を働かせる

(1) セブンステップガイド

マイケル・デービスが提唱
人が経験的に身につけている
倫理問題の段階的解決方法
各段階の要素を取り出し、
①～⑦の順番に並べたもの

①事実を観察し問題点をつかむ

②関連事実をとらえる

③関係者を特定する

④複数の選択肢を挙げる

⑤選択肢を査定する

⑥選択肢案を選ぶ

⑦最終の選択肢とその効果

令和元年度第4回研究WG

4

第4回研究WG資料 倫理実行の手法(平野委員担当分)

構成としては、1. 倫理学習の討論方法、2. 倫理問題のセブンステップガイド、3. 倫理的行動ガイドライン、4. 倫理的判断の方法、5. 全体像の把握

～福島原発事故の場合～、6. 創作事例、とする予定ですが、今回は構成や事例の方向性を確認するための内容となっていました。主な内容としては、セブンステップガイドやデービスのガイドラインでの考え方、線引問題や相反問題として倫理的判断の手

第4回WG「技術者の倫理入門」第5章 事例研究

文責：佐藤 勉

【創作事例】『撮り忘れていた現場写真』

橋梁点検を請け負ったAコンサルタントの安部専務は、竹下を管理技術者として起用した。竹下は32歳と技術者として有望され5歳の子供がいる3人家族である。竹下は昨年橋梁点検を担当していたので要領は把握している。

旭山橋は他業務の長寿命化検討に使用するために、工期内であるが早い提出を求められていた。旭山橋の資料整理のときに写真の取り忘れに気づいたが、提出期限が迫って余裕が無いこと、その時は災害対応等で人手が足りない状態であった。竹下は、上司の宮澤部長に「写真を取り忘れたので、現地に誰か行かせて欲しい」と相談したが、上司の宮澤部長は「今は災害でてんでこ舞いだ、自分でなんとかしろ」と言われてしまった。他の技術者たちも忙しく業務対応していた。さらに社内検査においては、災害前までは計画通り実施していた、災害対応からは社内検査も滞っていた。

竹下は、その箇所について昨年と状況が変わっていないことは、現地で確認していたため、昨年調査したときに撮影した写真データを使用した。

提出後に長寿命化計画を担当しているコンサルから「一部の写真が、昨年の写真と同じではないか」と、発注者の森からの指摘があった。竹下は素直に「申し訳ありません。状況が変わっていなかったもので昨年の写真データを使用してしまいました」と答え、すぐに現地向かい状況の再確認と写真撮影し成果品を修正し納品した。

第4回研究WG資料 倫理実行の手法(佐藤委員担当分)

法といった内容に関しての説明がありました。

また、佐藤委員が倫理委員会最初のオリジナル事例「撮り忘れていた写真」を創作し、セブンステップガイドやデービスのガイドライン、決議論といった手法で事例検討した内容について発表しました。

(3) 杉浦委員によるミニ講演(私の技術者倫理への取り組みについて)

杉浦委員より「私の技術者倫理への取り組みについて」と題したミニ講演が実施され、これまでに業務上経験した中から「監理技術者の業務」「志向倫理のコミュニケーション」を題材にして、自身の最近における技術者倫理への取り組みについて自己紹介を交えながら、話題提供していただきました。

2. 第5回研究WG

(1) 技術士全国大会に関する話題提供

第46回技術士全国大会の技術者倫理情報交換会が10/5に開催され、日下部委員長、花田相談役が

参加し、各地方本部での倫理委員会活動や技術士更新制度導入後の技術者倫理教育のあり方・進め方や問題点等について活発な意見交換が行われました。

(2) 技術者の倫理入門：第 5 章(倫理実行の手法)

平野委員・佐藤委員より、「技術者の倫理入門：第 5 章(倫理実行の手法)」と題した報告がありました。前回定例 WG では創作事例「撮り忘れた写真」を題材に事例研究を行いました。今回の定例会ではセブンスステップガイドで検討した内容をダービスのガイドラインに沿って、前回より詳細な検討を行い、最終的な選択肢(行動案)とその効果についてとりまとめを行いました。また、次回定例会までにとりまとめ方の更なる工夫を行うなどして、資料及び発表内容を改善していくことになりました。

(3) 旭川高専技術者倫理共同授業

旭川高専における技術者倫理の第 1 回目共同授業を令和元年 11 月 12 日(火)に実施し、倫理委員会から日下部委員長、斎藤・佐藤・小川委員、道北技術士委員会から高桑・岡崎技術士が参加しました。

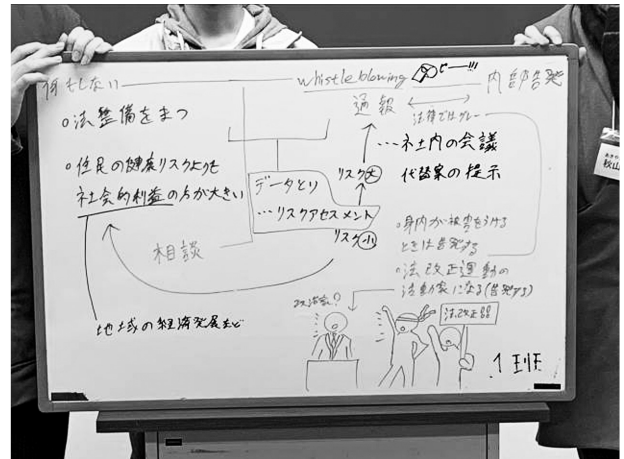


11/12 に実施した授業風景(斎藤委員の講義)

今年度は授業 1 回につき講師が 6 名必要で、今年度も道北技術士委員会に応援を頼み、快く引き受けて頂きました。講義テーマは「予防倫理学習～いざという時のために～」で実施しています。

第 2 回目の共同授業は令和元年 11 月 19 日(火)に実施し、講師として倫理委員会から佐々木幹事長、本橋・佐藤委員が、道北技術士委員会から高桑・山田・小椋技術士が参加いたしました。講義テーマは「内部告発者の保護・救済」で実施しています。

第 3 回目共同授業は令和元年 12 月 3 日(火)に



11/19 に実施した授業風景(学生の発表内容)

実施し、講師として倫理委員会から長谷川幹事、小川・佐藤・平野委員が、道北技術士委員会から高桑・山田技術士が参加いたしました。講義テーマは「ヒューマンエラーと安全対策」で実施しました。



12/3 に実施した授業風景(グループディスカッション)

各回の授業とも、創作事例を用いて学生とグループディスカッションを行いました。過年度と同様に、各グループでは活発な議論が行われ、学生はマインドマップで課題整理や行動案検討を行う等、非常に優秀な学生が多かったのが印象的でした。

おわりに

倫理委員会では会員を募集しております。倫理委員会のメンバーとの意見交換や交流を通じて、技術者倫理についてさらに深く考えてみませんか？詳しくは当委員会 HP をご確認ください。また、詳細は後日改めてお知らせいたしますが、第 11 回技術者倫理フォーラムを令和 2 年 6 月 25 日(木)に開催予定です。みなさんの参加をお待ちしております。